

2024年8月6日

株式会社IHI

2024年度第1四半期決算説明会 主な質疑応答

1. 民間エンジン事業の状況はどうか？

- ・ 航空旅客需要の堅調な推移を受けて、スペアパーツ販売が増加し、前年同期比で営業利益は大幅に増加した。会社想定に対しても50～60億円程度上回っている。
- ・ PW1100G 追加検査プログラム費用は建値ベースでは変動ないが、為替の円安影響により98億円のマイナス要因となっており、この影響を除けば150～160億円程度の上振れ。
- ・ アフターマーケット費用は1Qでは発生が想定を下回っており増益要因になっている。民間エンジン事業の今後の見通しについては、アフターマーケット費用や新製エンジンの生産台数の変化等も含めて、動向を注視したうえで、見通しへの影響を見極めたい。
- ・ 為替影響については、PW1100G 追加検査プログラム費用では1円円高で10億円程度の営業利益増益となる一方、同費用を除いた部分では、2Q以降1円円高で10億円程度の減益となるため、今年度の為替影響は大きく無いと見ている。

2. コスト構造改革の進捗について

- ・ 今年度、107億円の改善を計画している。うち60億円が空領域での取り組みとなる。
- ・ 1Qにおいては、空領域で着実に改善ができていくほか、社会基盤でも、請負金増額達成による改善が進捗している。
- ・ 産業システム・汎用機械においては、足元においては車両過給機の採算悪化影響があるが、資機材価格の上昇を反映した受注を獲得する等、採算改善を進めていく。

3. 車両過給機事業について

- ・ 複数のメーカーと値上げ交渉しているが、一部難航しており、1Qにおいて影響が出ている。今後も粘り強く交渉を続けていく。

4. 構造改革費用について

- ・ 計画に織り込んでいる構造改革費用について、現時点で確定しているものはない。

以上